

## 新斎苑都市計画決定に係る説明会②

■日時 : 平成29年2月6日(月) 19:00~21:00

■会場 : 東市小学校体育館

■主催 : 奈良市

■出席者 : 市民:88名(他 報道関係者6名)

奈良市:19名

仲川市長、向井副市長、(他関係職員)

■配布資料 : 奈良市新斎苑基本計画概要版、奈良市新斎苑の都市計画決定について

■概要 : 19:00~19:05 市長挨拶

19:05~19:30 事業説明

プロジェクター投影により市長が説明。現火葬場の現状及び死亡者数推移、計画地選定の経緯や理由、計画地位置及び周辺の概要、各種調査、新斎苑建築概要と事業費、スケジュールについて説明。

19:30~19:40 都市計画概要説明

プロジェクター投影により都市計画課長が説明。都市計画決定の目的、内容、位置、面積、理由及び今後の手続きについて説明。

19:40~21:00 質疑応答

参加者14名より受けた質問に対し、市長及び市職員が回答。

### ■質疑応答

① Q : 計画地の場所がおかしい。議会の一部会派から候補地の提案があるのは知っているか?知っていたならどうして検討しないのか?以前市長は同時に2つの案は検討できないと言っていたが、議会が提案する24号線柏木付近の候補地は、活断層などの調査の必要もないと思う。

地域活性化対策案のアクセス道についての説明が無い。

A : 議会からは提案が無いので、検討の余地は無い。

地域活性化対策案のバイパス道については、案として示しているにすぎない。今後相談させていただきたい。地域で、対策協議会の中で議論するようにといった話があれば、検討させていただく。また、バイパス道については、火葬場のアクセス道では無い。

② Q : 説明、よく理解した。1日も早く仕上げてもらいたい。現在の火葬場の火葬能力は需要の70%程度。他市で火葬しなければいけない状況にある。

合併特例債の期限に間に合わせなければいけない。

大局的な見地から、反対派にはご理解願いたい。

A : ご意見ということで承らせていただく。

③ Q : 住民合意がとれるか不透明。

1月29日の説明会で、以前の想定事業費44億円と今回の計画で示されている事業費54億円の差は、消費税と調査費との説明があったが、それだけで約10億円になるとはさすがに計算である。44億円が高いとって一旦候補地を撤回したのであるのなら、54億円も高いのではないか。

京都大学の防災士でもある川田先生は奈良盆地東縁断層帯は揺れる可能性が高いと言っていた。

A : 44億円に、調査費及び土地取得費約5億円に加え、消費税約4.9億円を加えると約54億円となる。合併特例債を失うことの方が、財政に与えるダメージが大きい。

④ Q : 鹿野園町の地域活性化対策案について、バイパス道路の新設は、新斎苑への通路となってしまう心配がある。鹿野園町に対する利益供与ではないか。税の分配公平性に欠けるのではないか。

防犯カメラの設置については、東市地区全体で実施してもらいたい。

A : バイパス道路については、案として、提示させていただいている。確定したものではない。以前から課題として挙がっており、今後議論を深めていきたいと考えている。地域の交通渋滞を緩和する地域交通を担うものであり、新斎苑へのアクセス道路ではない。もし必要ないということであれば、今後の協議で議論していきたい。

防犯カメラについては、鹿野園町以外からも要望をいただいている。市内全域においても、進んで新斎苑の受け入れを容認される場所が無い中、もし、協力いただけるのであれば、よその地域よりプラスになることが必要で、優先順位を上げて対応していく。

税の分配公平性については、一方で、特定の場所に火葬場を置き続けることも公平とはいえない。一定の理解は得られると思う。

⑤ Q : 子供が東市小学校に通学している。バイパス道ができると通学路が心配。道路はつくって欲しくない。

A : バイパス道路は決定したものではない。道路を使う人、道路が通る所に住む人の意見は常に対立する。新斎苑へアクセスする車が乗り入れないようにルートを決める等、

地域の方が理解できるよう努めてまいりたい。一方で鉢伏街道を下ってくる車の問題もあり、安全対策についても議論に含めていきたい。

⑥ Q : バイパス道路については聞いていない。市議会でも議論されていない。  
新斎苑へのアクセス道路橋梁は勾配があり冬季の凍結などの危険性は払しょくされていない。アクセス道路の橋の入り口を閉めることはできるか。説明はこれで最後か。議会での結論を重視したい。バイパス道については、きちんと話し合う場が必要。

A : バイパス道については東市連合会でも話させていただく。今後、交通量調査も予定している。意見を聞きながら検討していきたい。  
橋梁の傾斜については、危険な訳ではない。冬季に積雪があれば、融雪材などで対応していく。

⑦ Q : 三百断層、高樋断層は活断層か。活断層で無いとするのは市長の個人的見解か、市の見解か。地震本部は活断層としている。市議会で副市長は、推定活断層と言った。公式見解は。

A : 両断層は30万年間動いておらず、活断層ではない。第三者評価結果も同じ。

⑧ Q : 仕事をすれば、その対価として報酬をもらうのが通常と考えるが、第三者評価を行った3人のうち、藤田教授が報酬を受け取らなかったのはなぜなのか。

第三者評価で安全ですというが、八千代や明治の資料で安全を示してほしい。

藤田教授が報酬を受け取らなかったのであれば、その評価書はウソではないのか。

藤田教授が建設後の地下水コンターを予測するようと言っているが、数値が違った場合どうするのか。

釜井教授が言っている礫岩の材料試験とはどんなものか。

堤准教授が「奈良盆地東縁は、南北方向の地質構造線が発達する地域で、そのような地域特性を踏まえ追加調査実施し、その有無や性状を確認することが望ましい。」と言っているが、どうするのか。

A : 藤田教授は、ご自身の意思により、第三者評価の報酬を受け取られなかった。市の調査では不十分だという声により、第三者評価を行った。

評価書については、教授の責務において、評価いただいていたもの。

地下水の流れは現段階で予測を行っている。工事後再度、湧水等の調査を行うが、予測が変わるような場合は第三者の先生方に相談して調査等を行う。

材料試験とは圧密試験等のことであり、ゼネコンが工事の際に通常行う調査で、一般的なことである。

奈良盆地東縁断層帯は、南北に断層がある。そのため、斎苑の方にもあるかもしれないということで、物理探査という調査を実施した。その結果断層は無かった。

⑨ Q : 調査等を含めて5億は高額である。奈良市が購入して眠っている土地がたくさんある。

墓地は設置しないのか。

風評被害はどうするのか。

A : 市の土地で、面積等の条件を満たす土地はそんなにない。

墓地は設置しない。

風評被害対策は、地域活性化対策で考えている。

⑩ Q : 迂回路（バイパス道路）は案というが、市長のサインが入っている。どういう意味か。

副市長が先ほど勾配は名張線と同じと言ったが、橋と道路では凍り方が違う。

説明会は今後も行おうと言っているが、都計審が通ればごり押しするのではないか。聞く耳は持つつもりか。

A : 重要な事業であると考えており、サインについては、お願いや挨拶等を含め直筆でさせていただいた。

橋の勾配は8%であるが、道路構造令では標準値である。凍結のしやすさについては、道路に比べると、地熱がない分凍結しやすいと考えるが、融雪剤等で対処する。

⑪ Q : 以前の説明会でもお願いしたが、今回も回覧が直前まで回ってこなかった。もう少し早く広報してほしい。また、事業についても西大寺の友人は全然知らなかった。もっと広報してもらいたい。

岡谷病院の先は歩道がない。火葬施設による交通負荷はどれくらいか。

A : 説明会の広報が遅かったのは申し訳ない。また、事業の市民への周知については努力していきたい。

新斎苑による増加分は、ピーク時で1時間あたり、4、5台と試算している。

⑫ Q : バイパス道路を使う方はどこへ行くのか。南は名阪道路があり、北は関係ない。相

当な費用を掛けて、どれだけのメリットがあるのか。白毫寺町から破石の方へ抜けるほうが安い。この道路は斎苑しか行けなく、必要ない。鹿野園町にだけ約束しているのは納得できない。反対である。

A : 破石へ抜ける道路としては、寺山波多野線を開通させたいと考えている。交通量調査の結果、バイパス道路については、不必要であれば作る必要はなく、今後も議論させていただきたい。

⑬ Q : 建物を地下に10m掘り込む。地下水コンターが大幅に変わる可能性がある。湧水の経路が変わることを市民に説明していない。建物の擁壁（基礎？）で岩井川や鹿野園町の方へ流れる。大雨とか地震時に深層崩壊を起こし、鹿野園町では土砂災害が起こる。

A : 地下水の流れが変わるかは第三者の先生に確認していただいている。その結果、斎苑の工事で地下水の流れが変わることはない。また、将来の予測として他の地域に影響を及ぼすことはない。

（藤田教授の評価を読み上げる。）先生も調査については、責任を持つ。

⑭ Q : 請願が8件出ている。都合が悪いことはねじ曲げている。地域活性化のサインにも仲川げんと本名ではなく、芸人のような名前を使っている。地元をバカにしている。アクセス道路に専用道路という標識はつけるのか。

A : 請願については議会で審議中。しっかり対応していく。名前については基本的にこの名前を使っている。

今日の説明会の意見を聞いて検討する。